**第２学年１組　国語科学習指導案**

**１　単元名・教材名**

　　知っていることとつなげて読もう　「おにごっこ」

**６　本時の学習指導**（本時3／9時）

（１）目標

　　○第３段落の文章の中から大事なことを読み取ることができる。

（２）展開

|  |  |
| --- | --- |
| 前時の学習内容 | 〇第2段落の文章の中から大事なことを読み取ることができる。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導と評価の創意工夫 | 時間 |
| １　前時の学習を振り返る。  ２　83頁の8行目から84頁の8行目までを音読する。  ３　第三段落を読み、遊び方と、その遊び方のおもしろさをまとめる。  ４　見つけた遊び方とそのおもしろさを発表する。  ５　見通しを持つ | ・前時の学習内容の振り返り、本時の学習課題を確認する。  めあて　おにごっこのあそび方とそのおもしろさをみつけながら読もう  ・音読の工夫を行う。  ・文章の場面の整理をする。  ・文章の構造に気付くことができるようにする。  ・自分の考え、他人の考えの交流の仕方を工夫する。  ・次時の学習の見通しを持たせる。 | 〇前時の学習について振り返り、第２段落のおにごっこのあそび方をみつけたことを確認し、本時では第３段落に書かれている遊び方の学習をすることに意欲的に取り組むことができるようにする。  〇机間指導をしながら、音読する。  〇音読をする前に、おにごっこのあそび方とおもしろさをみつけながら読むということを意識させて、児童が集中して音読を聴くことができるようにする。  〇３段落目の文の最初に、「また」と書いてあることに気付かせ、遊び方がもう一つあるということに気付くことができるようにする。  〇本時の学習範囲をわかるようにし、見通しを立てられるようにする。  〇前回と同じ文章の構成になっていること  　に気付くようにする。  〇遊び方と、どうしてその遊び方をするのという２つを発表するということを確認する。  〇３段落に書かれているおにごっこをしたことがあるか、いつもしているおにごっことの違いはなにかと発問し、自分の体験や考えたことを発表できるようにする。  〇この遊び方で「そうだったんだ」「本当にそうだ」「そうかなあ」と思ったことがあるか発表するように促す。  〇似たおにごっこの例として高鬼や色鬼を想起させる。  〇他にどんな遊び方があるか、知りたいと思わせるように促す。 | ５  ５  １０  ２０  ５ |

**７　備考**　在籍児童数　３５名

**８　板書計画**

　〇あそび方はなにがあるでしょう。

　・にげる人だけが入れる。

　・つかまらないときをきめる

　〇あそび方のおもしろさ

　・にげる人がつかまりにくい

　〇にげる人がつかまりにくいおにごっこ

　・アスレチックおに

　・色おに

　・高おに

　〇考えたこと

　・にげやすいから、足がおそくても楽しいな

　・みんなが楽しめるな

　・他にどんなことをすると、つかまりにくくな

　　るかな

おにごっこのあそび方とそのおもしろさをみつけながら読もう